

# 施工説明書

LAMP®

## FD50SP 上吊式引戸

上ローラー木口掘込 デュアルソフトクローザー仕様

品番：FD50SPDHCP

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

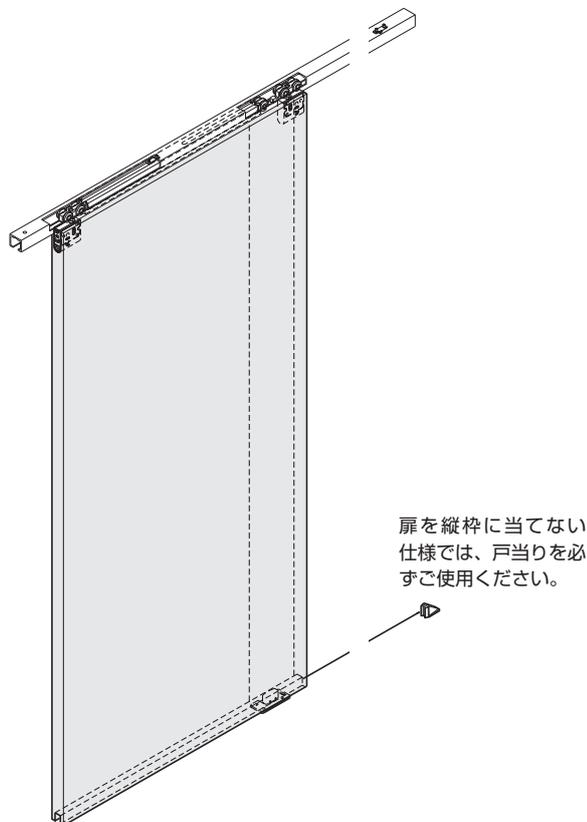
### 本製品について

- 屋内用の上吊式引戸金物です。
- 扉を開閉する双方向にクローザーが働き、戸先と戸尻それぞれの方向に2段階でゆっくりと静かに引き込みます。
- 工具を使わずに扉を吊り込むことができます。

### 仕様

扉高さ	2400 mm 以下	2401 ~ 2700 mm
扉幅	680 ~ 1500 mm	800 ~ 1500 mm
扉厚	24 mm 以上	
扉質量(1枚当り)	50 kg 以下	
扉上下調整範囲	± 4 mm	
扉前後調整範囲	± 2 mm	

- ・使用場所の室温、操作方法および取付け状態などにより、ソフトクローザー機構による扉の閉じる速さは変わります。
- ・使用推奨温度範囲は5℃～40℃です。



### 正しく安全に施工していただくために

**警告・注意**   **禁止**   **厳守**

#### 警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。



- ・本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ・扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉が脱落してけがをするおそれがあります。



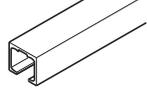
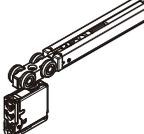
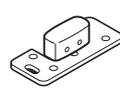
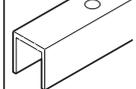
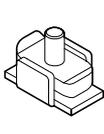
- ・本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ・本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

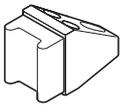
#### 注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。



- ・指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ・部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。
- ・切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ・本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ・ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。

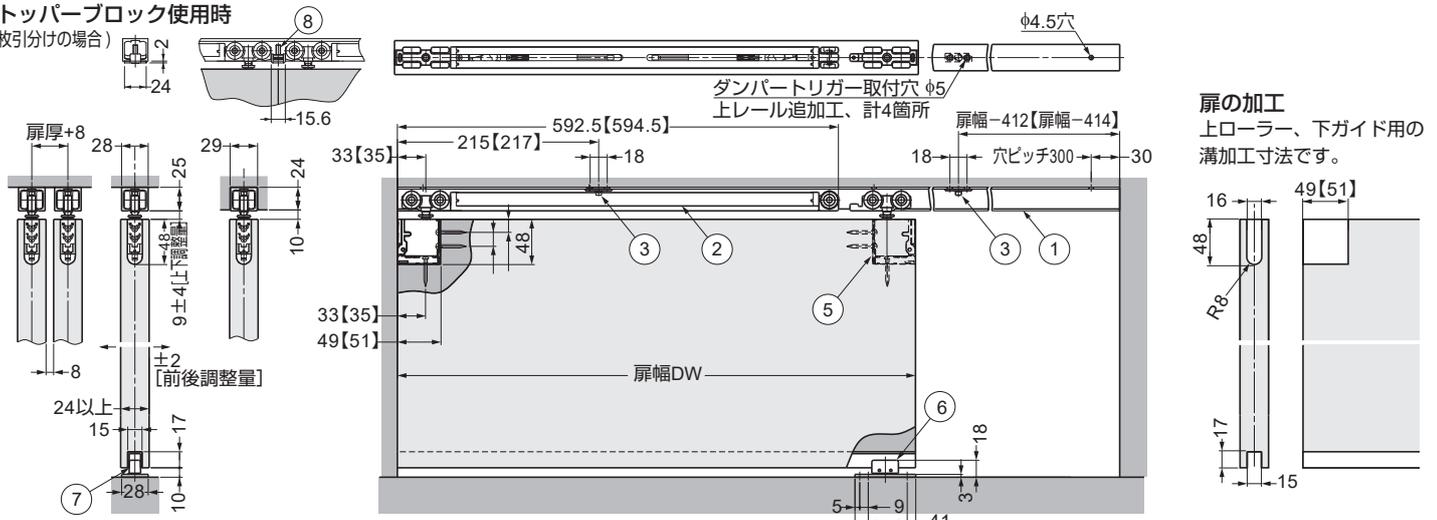
# 部品一覧

No.	①	②	③ ④	⑤	⑥	⑦	⑧
品名	上レール	デュアルソフトクローザー	トリガー、取付治具	上ローラー (掘込用)	下ガイドS	扉下側埋込みガイドレール	ストッパーブロック
品番	FD50-TRM 型	FD50SP-WRH-DSC	FD50-TRG、FD50-TRJ	FD50SP-WRH	FD50-BG18	FD30-HBRT 型	FD50-HSB
部品	 1820 mm ~ 4000 mm 穴ピッチ: 300 mm ピッチエンド: 30 mm 付属: 十字穴付平頭タッピンねじ 3.8×40	 付属: 十字穴付平頭タッピンねじ 3.8×40 ..... 3ヶ	 ③トリガー 2ヶ ④治具 1ヶ 付属: 十字穴付小径皿タッピンねじ 4×30、皿径φ6・4ヶ	 付属: 十字穴付平頭タッピンねじ 3.8×40 ..... 3ヶ	 付属: 十字穴付バインドタッピンねじ 4×16 ..... 5ヶ	 穴ピッチ: 250 mm ピッチエンド: 30 mm 推奨ねじ: 十字穴付皿タッピンねじ 4×20	
片引き戸	 1本	1ヶ	1セット	1ヶ	1ヶ	1本	—
引違い戸	 2本	2ヶ	2セット	2ヶ	2ヶ	2本	—
引分け戸	 1本	2ヶ	2セット	2ヶ	2ヶ	2本	1ヶ

オプション	No.	⑨	⑩	⑪
	品名	上ローラー用化粧キャップ	戸当り (床付用)	スパナ
	品番	FD25SP-WRH-CP 型	FD30-HTKY	FD25SP-SP
部品	 厚さ: 2 mm	 付属: 十字穴付バインドタッピンねじ 4×30 ..... 3ヶ		

## 寸法図

### ストッパーブロック使用時 (2枚引分けの場合)



**扉の加工**  
上ローラー、下ガイド用の溝加工寸法です。

## 取付手順

(本書では片引き戸を例に説明しています。)

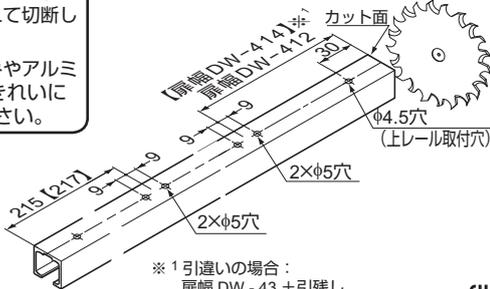
### 1 取付前の準備、取付け

#### 【1】上レールの切断・穴加工

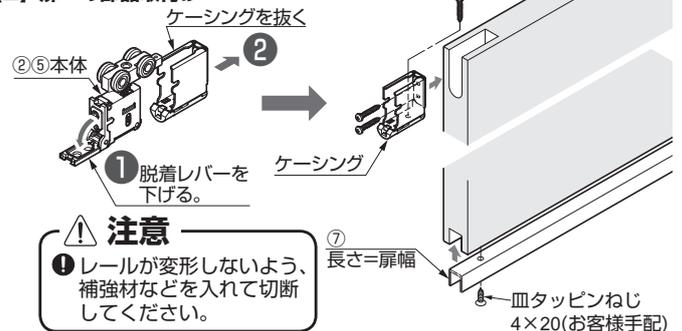
##### 注意

- レールが変形しないよう、補強材などを入れて切断してください。
- 上レール内のごみやアルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。

【 】寸法はオプションの上ローラー化粧キャップ⑨を使う場合の寸法です。



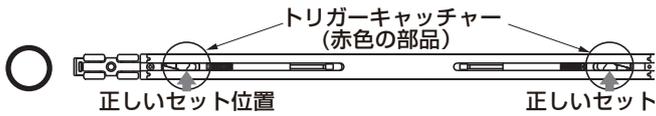
#### 【2】扉への部品取付け



### [3] ソフトクローザー取付前の確認

#### ⚠ 注意

① 確認しないで取り付けた場合扉が引き込まれない故障の原因になります。



位置が正しくない場合、φ6 の硬い丸棒でトリガーキャッチャーを引っ掛けて正しい位置に戻す。



動画をご覧ください



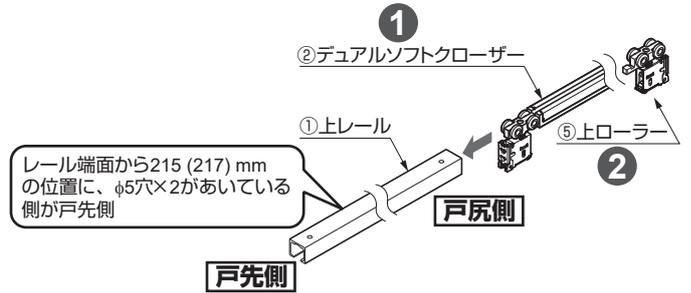
### [4] 上レールへの部品の組み込み

各部の向きに注意し、① ② の順に組み込む。

戸先側と戸尻側に注意して、上レールを上枠に取り付ける。

#### ⚠ 注意

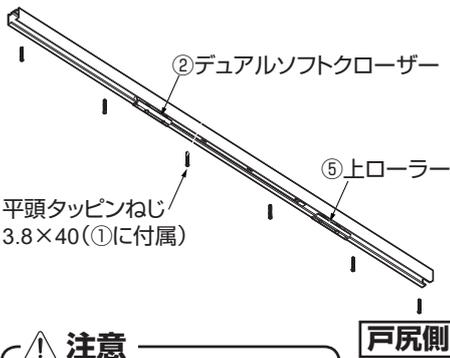
① 上レール内のごみやアルミの切粉などはきれいに取り除いてください。



### [5] 上レールの取付け

戸先側、戸尻側の向きに注意し、付属ねじで上枠に固定する。

#### 戸先側

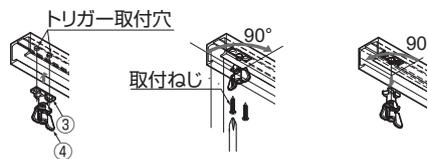


#### 戸尻側

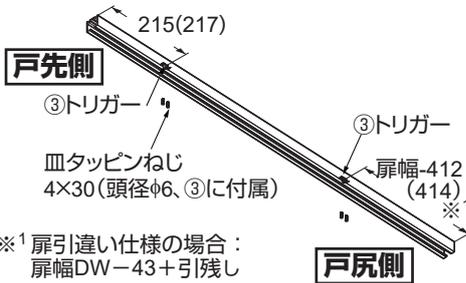
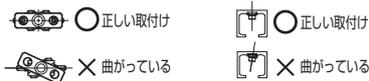
#### ⚠ 注意

- ① 上レール内のごみや、アルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。
- ② ねじの締めすぎや、ねじ頭の出っ張りに注意してください。レールの変形や、ソフトクローザーの誤動作につながります。

### [6] トリガーの取付け



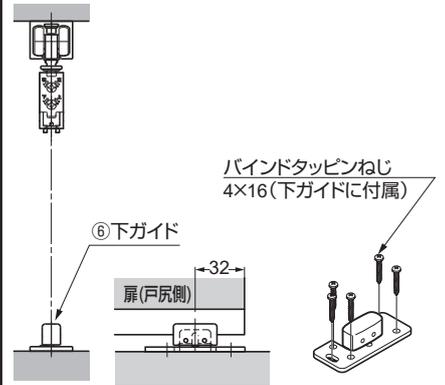
1. トリガーと治具を取付穴に合わせる。
2. トリガーを取り付ける。
3. 治具を外す。



※1 扉引違い仕様の場合：扉幅DW-43+引残し

### [7] 下ガイドの取付け

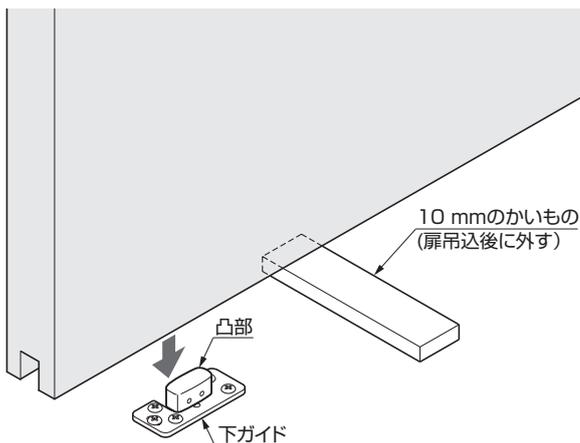
上レールの真下、かつ下ガイドの凸部がガイドレールから外れない位置に、取り付ける。



## 2 扉の吊込み、調整

### [1] 扉の吊込み(扉下部)

扉の下に10 mmのかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。

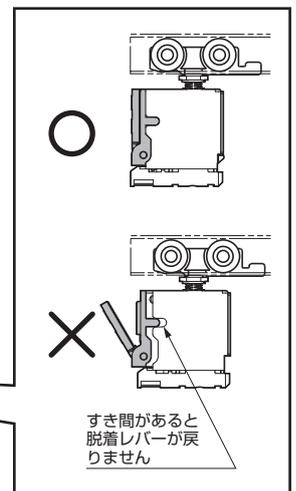
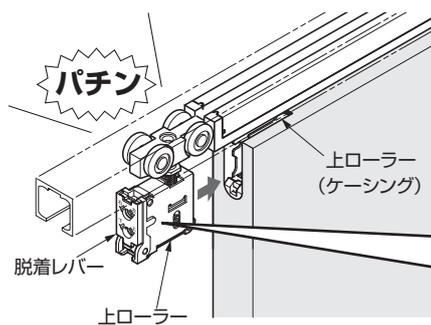


### [2] 扉の吊込み(扉上部)

上ローラー(本体)をクリック音がするまで押し込む。

#### ⚠ 注意

① 上ローラー(本体)がケーシングから外れないか確認してください。(戸先、戸尻の両方)

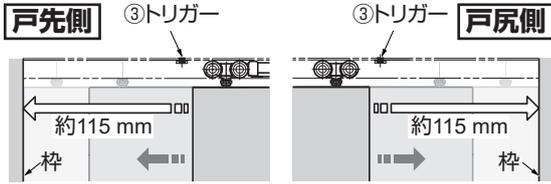


### [3] ソフトクローザーの動作確認

- (1) 扉の下から10 mmのかいものを外す。
- (2) 扉を戸先側にゆっくり動かし、ソフトクローザーに当たり、扉がゆっくり最後まで閉まることを確認する。
- (3) 戸尻側も同様に確認する。
- (4) クローザーが正しく機能しない場合は、下記の**■困ったときの対応**を参照。

#### ⚠ 注意

⊖ 扉を乱暴に閉めないでください。ソフトクローズ機構の故障の原因になります。



### [4] 扉の位置調整

扉が上レールと平行で床面とのすき間が6~14 mmになるように調整する。

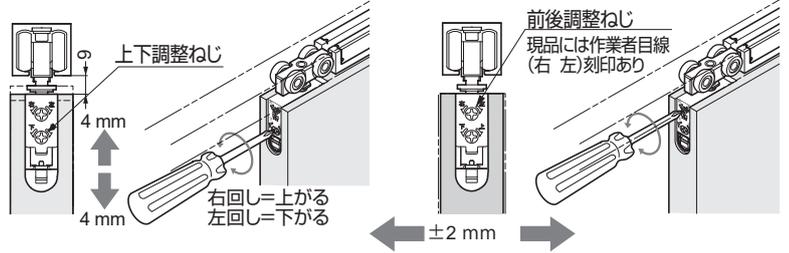
#### ⚠ 注意

- ❶ 跳ね上がり防止ナットが緩んだ状態で調整をしてください。
- ⊖ 調整ねじを調整範囲以上に回さないでください。破損の原因になります。
- ⊖ 調整ねじを電動ドライバーで回さないでください。破損の原因になります。



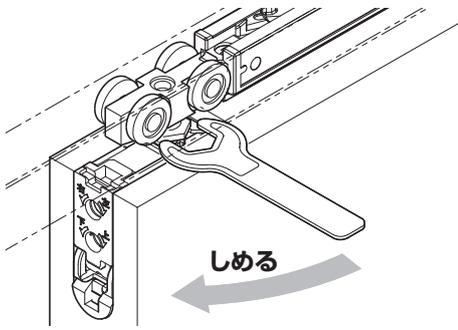
扉の上下調整範囲：8 mm

扉の前後調整範囲：4 mm

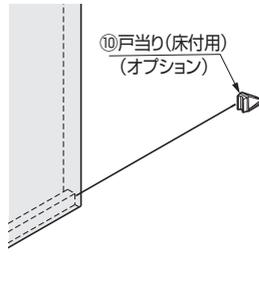


### [5] 跳ね上がり防止ナットの固定

ローラー吊り軸(両側)の跳ね上がり防止ナットを別売のスパナ12で締め付ける。



扉を縦枠に当てない場合、オプションの戸当り(床付用)を必ず取り付けます。

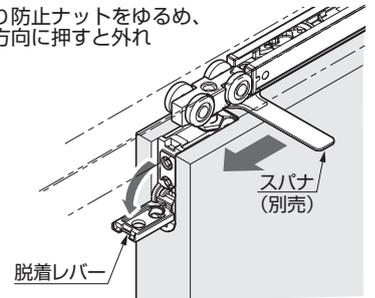


### 扉の外し方

扉の下に10 mmのかいものはさむ。

上ローラー(本体)のレバーを下げたまま、上ローラー(本体)をケーシングから引き抜く。

別売のスパナで跳ね上がり防止ナットをゆるめ、ローラーの吊り軸を矢印方向に押しと外れやすい。



#### 定期点検

- ・レール内の掃除をおこなってください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をおこなってください。

## ■困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉がソフトクローズの途中で止まってしまう	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が6~14 mmになるようにしてください。
	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して、上レールを水平に付け直してください。
	モヘア等を使用していませんか。	モヘア等と扉の摩擦を軽減してください。
扉がソフトクローズしない	トリガーが付いていますか。	トリガーを指定の位置に取り付けてください。
	扉を勢いよく閉じていませんか。	扉を勢いよく閉じることは、故障の原因になりますので、おやめください。
	P.3手順■-[3]のトリガーキャッチャー位置が変わってしまった可能性があります。(上レールに組み込んだ状態では確認できません)。	扉と上レールを取り外し、手順■-[3]の確認をしてください。
扉の開閉時に異音が発生する	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が6~14 mmになるようにしてください。
	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものとこすらないように扉の前後調整してください。
	上レール内のローラーにごみやアルミの切粉が付着または、刺さっていませんか。	上レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものとこすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置調整をしてください。
	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して、上レールを水平に付け直してください。
扉が開閉しない	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
勝手に扉が開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して、上レールを水平に付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、  
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※ 弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

**SUGATSUNE** スガツネ工業  
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30  
E-mail : support@sugatsune.co.jp

2024.01 1626-1j